

平成 28 年 2 月 23 日

在ミラノ日本国総領事館・警備

## 北イタリア治安情勢通報 ～マルペンサエクスプレス内における窃盗事件の発生～

2月初旬から中旬にかけ、マルペンサエクスプレス車内において、日本人旅行者の方が被害に遭われた窃盗事件が3件発生しました。

同列車内では、これまでも旅行者を狙った窃盗事件が発生しています。旅の始まり、終わりの車内での窃盗事件は、予定が台無しになってしまいますので、次のような事例には十分注意してください。

### ケース 1

**列車の窓ガラスを叩かれた時には、荷物を確認！**

マルペンサ空港駅からカドルナ駅間では、サロンノ及びボビザ駅で停車します。このとき、ホーム側から男が窓ガラスを叩いて、乗客の注意を窓の外にそらした隙に、車内の共犯者が座席に置いていたバッグを盗んで、すぐさま降車するといった事件が発生しています。

### <防止策>

○ 貴重品が入った手荷物バッグは、乗車中も、座席の上ではなく、身につけて持つ。

例えば、

- ・ショルダーバッグの肩紐をたすきがけにしたままにして、膝の上で持つ
- ・リュックサックは足の間、後ろに置く
- ・キャリーバッグは窓側に置く

ことで、車内の共犯者が、バッグを盗むことができなくなります。

○ 座席の上に置く場合は、通路側ではなく窓側に置くことを心がけ、自分の体を壁にすることで、簡単に通路側から取られないようにしましょう。

## ケース2

**車内で文句をつけてくる人、小銭や物を落とした人には要注意！**

車内で、「ここに物を置いてはいけない」等と文句を言って、網棚に荷物をあげさせたり、荷物置き場に置かせようとする人がいます。注意を受けて、スーツケース等を棚に上げている際、椅子の上に貴重品を入れたバッグを置いていると泥棒に狙われてしまいます。また、小銭や物を落とした人のために、親切に拾っていると、その隙に自分のバッグが奪われてしまう事件が発生しています。日本人の親切心やルールを守る気持ちにつけ込む、こうした犯罪が当地では発生しています。

### <防止策>

- 空いている車内では、キャリーバッグを足下に置いて大丈夫です。荷物は目の届く場所に置くか、離れた場所に置く場合には、チェーン錠で支柱等につなぎとめましょう。旅行用のチェーン錠が販売されていますので、ぜひ活用してください。また離れた場所に置いたバッグには、貴重品は入れないようにしましょう。
- 相手に親切にする際にも、こうした事例があることを忘れずに、貴重品が入ったバッグは身につけておきましょう。
- マルペンサエクスプレス車内に限らず、地下鉄車内でも同様の事件が発生しています。泥棒は、「相手の隙に乗じて、バッグを盗む」ことを忘れないようにしましょう。

昨年1年間のマルペンサエクスプレス内での被害は2件でした。マルペンサエクスプレスに限らず、フレッチャロッサ等の特急列車に乗る場合にも同様の事件が過去に発生していますので、長距離旅行の際にも気をつけて下さい。

本通報に関する問い合わせ先

総領事館代表電話：02-6241141 [ryojikan@ml.mofa.go.jp](mailto:ryojikan@ml.mofa.go.jp) (警備班)